

学校経営の基本理念

「自己実現」を目指す子どもの育成を目指し、「共有と徹底」「助け合い・励まし合い」を基本方針として

1. 教職員の連携を大切にして、各部・各分掌・各学年等での組織的な動きを推進します。
2. 研究を核に生徒指導の視点をもって授業を通して、児童の資質・能力の向上を図ります。
3. 生徒指導上の課題を共有し、すべての教職員が自分事として関わりできることを考えます。
4. 教職員で議論することを大切にし、共通理解と取組を徹底し、決めたことは必ず実践していきます。

目指す学校像【全教職員で進める学校づくり5つの柱】

1. 子どもの命を守り切る学校。【子どもの安心感と教職員の安全への意識の向上】
【いじめ、虐待などの早期発見と児童相談所やはぐくみ室等との連携】
2. 多様な子ども一人一人によりそう学校。
【各学級での個別の関わり。通級指導、個別の指導計画、就学支援シートの活用。SC、SSWの活用。】
3. 教育者としての職務を自覚し、専門性を高めるとともに働き方改革を進める学校。
【育てたい資質・能力を常に意識して子どもに向き合う。ICT活用指導力の向上。OJTの充実。】
【公務員としての意識。学び続ける大人。教職員自身の健康への留意。】
4. カリキュラム・マネジメントの視点でPTA、地域と連携や協同を推進する学校。
【カリキュラム・マネジメントの確立。学校HPの充実。「体験活動」や「ボランティア活動」の要請。】
5. 校種間連携・接続を推進する学校。(令和7年度 小中一貫校創設を控えて)
【統合を見据えて、子ども同士、教職員のつながりを意識。】
【生き方探究教育の充実。一人一人の教育的ニーズに応じた切れ目のない指導や支援の推進。】

【学校教育目標】 「自ら学び、ともに『自己実現』をめざす宮山の子」の育成

「コツコツ」努力を続ける子	「パチパチ」拍手がおくれる子	「ニコニコ」笑顔がすてきな子
基礎・基本的な学習内容を確実に身に付け、自らの課題解決に向けて主体性を発揮して、努力できる子ども。	一人ひとりの個性や存在を認め合い、豊かな人間関係を築きながら共によりよく生きようとする子ども。	きまりを守って自らを律し、基本的な生活習慣を身に付けて、清々しく健康的な生活がおくれる子。

確かな学力の育成	豊かな心の育成	健やかな体の育成	OJT・働き方改革の推進
○授業力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・GIGA スクール構想の推進 ・問題解決的な学習や探究活動を推進する授業展開の工夫 ・校内研究の充実 ・学年部会による研究の推進 ○学力向上の取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・学習規律の確立 ・各種調査結果を踏まえた基礎・基本の徹底 ・家庭学習の定着 ・読書活動の充実 ○総合育成支援教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・多様な児童の実態に合った支援の推進 ○カリキュラム・マネジメントの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・資質能力の向上 	○集団づくりと絆づくり <ul style="list-style-type: none"> ・児童会活動の充実 ・自尊感情を高める学級経営 ○道徳教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・特別の教科 道徳を要とした道徳教育の推進 ・年間計画をもとに計画的な道徳教育の実践 ○生徒指導の視点における取組の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・問題行動、いじめ、不登校の未然防止 ・子どもの背景を捉えた児童理解 ○規範意識の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用防止教室、非行防止教室等の実施 ・家庭との連携 ○伝統文化や芸術を通した取組 <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化教室の実施 	○体力の向上の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ロング昼休みの活用による外遊びの実践 ・体育授業や運動部活動の充実 ○基本的生活習慣の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・「早寝、早起き、朝ごはん、歯みがき」の取組 ・生活習慣に関わる家庭への情報発信 ○安全教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・「学校安全計画」に基づく計画的な指導 ・安全の日の取組 ○「食」に関する指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭と連携した食の指導の充実 ・給食を生きた教材として望ましい食習慣を育てる。 	○教職員研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・学年部会での研修、児童の情報交換の推進 ・若手教員研修会の充実 ・研究会活動への積極的な参加 ・総合教育センターの講座等への積極的な参加と研修内容の発信 ○働き方改革への意識の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・校内外の人材の有効な活用(校務支援員、学生ボランティア) ・年休取得の推進 ・セット時刻の設定 ・学校行事や取組の見直し ○学校事務との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・計画的、効果的な学校予算計画の立案